

## 那覇大綱引きを教授するための教師用デジタル教材の開発 ～オーラルヒストリーの聞き取りから～

新城 杏樹, 眞喜志 悦子, 加治工 尚子 (岐阜女子大学)

那覇大綱挽は、琉球王国時代の那覇四町綱の伝統を引き継ぐ、長い歴史を有する沖縄最大の伝統文化催事である。その発祥は、西暦1450年頃だとされている。地方の農村行事としての綱引きが、稲作のための雨乞い・五穀豊穰・御願綱を起源とするのに対し、町方(都市)の綱として、交易都市那覇を象徴する大綱挽である。年々盛況となっており、1995年ギネスブックによって「世界のわら綱」と認定されるに至って、那覇大綱挽は、いまや世界の綱挽として、那覇市民・県民の誇りとなり、沖縄の観光振興に大きく貢献する沖縄最大の伝統行事として定着している。

今回、デジタル教材の開発にあたり、那覇大綱挽保存会の相談役真栄里泰山先生にお話を伺うことができたので、その内容について一部を報告する。

### (1) 聞き取りした項目と内容

真栄里泰山先生への聞き取り調査は、2度にわたって実施した。令和2年12月17日および、令和3年1月9日である。撮影場所は、那覇大綱挽保存会の事務所をお借りできた。

- ・旗頭について
- ・綱の作成について
- ・残った綱はどうしているか
- ・綱引き前のウガミなどの風習は残っているか
- ・地域への継承について
- ・今後の展望
- ・那覇市と大綱挽の関係について
- ・那覇大綱挽の魅力について

図1. 聞き取りした項目



図2. 真栄里泰山先生への聞き取りの様子

### ①旗頭について

真栄里：綱引きは、村の対抗のシンボルとして旗頭がある。旗頭は昔、戦いのシンボルのような感じだったんだけど、そうではなく、地域のシンボルとしてみんなが私たちの村はこうであ

りたいなという希望を含めたものを字の中に書いたりしてある。そして、頭には飾りをつけてそのなかには「テーク」といって中にあかりをつけて夜でも見えるように工夫している。こういった旗頭は沖縄独特のものです。この旗頭を地域みんなの守り神にする。…（以下略）



旗頭 提供元 那覇市

## ②那覇大綱挽の魅力

真栄里：那覇大綱挽の魅力といたらなんといっても、自由に参加ができること。そして、自由に参加できることを地域の人が温かく見守っていること。綱引きというのは、田舎では地元民以外は引かせないというのがあるが、那覇大綱挽は昔からスミズナといって誰でも参加してくる。今は世界中から参加している。沖縄に住んでいるアメリカの方もくる。1/3 くらいアメリカの方。那覇大綱挽の和気あいあいとした雰囲気と幸せ、平和を引き込みたいという願い、もう一つは伝統文化に対して那覇の人たちは誇りを持っていることを地域の参加する人たちが感じるものを自分のところに持って帰って欲しい。やっぱり那覇だけの綱引ではありませんよ、沖縄の綱引であると同時に日本の綱引であり、アジアの綱引であり、世界の綱引になるように。そんな魅力になるような願い。（中略）スマホなどで世界に配信して行ってほしい。沖縄の人は沖縄戦での苦労もあったけれども基地の問題で悩む人もいるけれどそれを乗り越えてアメリカとも仲良くして、地域の人たちとも団結しながら平和を引き込む綱として国際的に有名にする。これが、沖縄の次世代の役目だと思います。…（以下略）

## ③今後の展望について

真栄里：地域を大事にしていくそして、地域の文化を引き継いでいく子どもたち、地域が仲良く助け合って生きていくための団結にとっても大事な行事。これをぜひ続けて欲しい。もう一つは「ギネス認定の世界綱」になっていますから、世界の綱引きを沖縄でやってみるのも面白いと思っている。アメリカで沖縄の綱引きをしてみたいと思う。ほかにも伝統的な綱引きではなくて、スポーツ綱引き大会があるんです。伝統の綱引きと同時に世界の綱引き大会を沖縄でもやってみたいな。そしたら、沖縄の綱引きのイメージも出てくるし、もともと沖縄は、日本、アジア地域の中でも綱引き行事が非常に多い地域なのです。「綱引き王国沖縄」と僕は言っています。世界の綱引きを沖縄でやってもらって、世界とのつながりをもてるように世界にもっていく。これを、やっていきたい、いやできると思います。今の子どもたちは小中学校で旗頭を持っていますから。

## ④真栄里先生の思い

真栄里：那覇大綱挽は沖縄を代表とする大きな綱なんです。その綱に込められた願いがあるわけです。それを、私たちは自覚していく必要があると思います。何かというと、地域の人が団結をして綱を作り、大きな行事をやる、最初は各学でやって最後は結集していく。「綱は団結あり」という言葉がある。みんなで力を合わせて地域社会を良くしていく。同時に国際社会、戦争などやらないで協力しあっていくそのシンボルとして綱を発展させたいなと思っていますし、那覇大綱挽はそういう思いを込めてずっと曳いてきてますから、それを僕としては世界に繋げていく綱にしていきたいなと思っています。



世界中からの参加者 提供元 那覇市